

「熟議」で委員会の充実を

CS委員会での
「より深い相互理解」・「より効率的な共有の場」を
みんなでつくるために

▶あなたのCS委員会の現状を振り返ってみましょう

Q. 十分に話し合いが行われていて充実している。

YES

NO

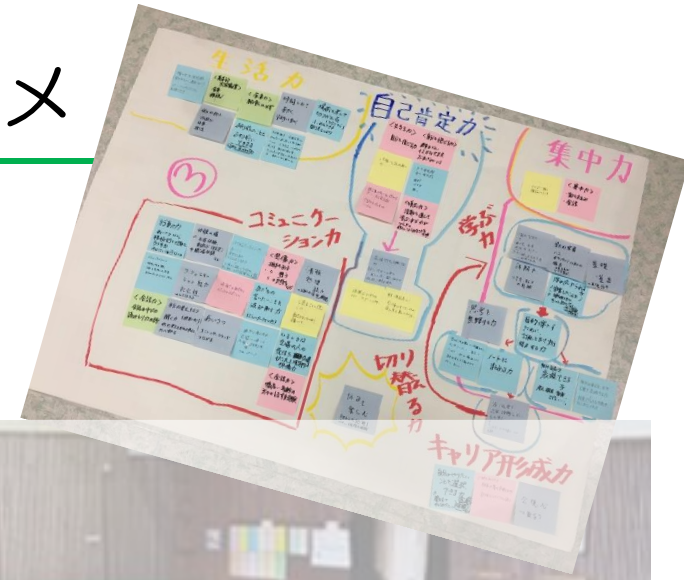


話し合いが十分でない、と感じる理由は何でしょうか？

- ・ 年間の会議の回数が少ない
- ・ 1回あたりの会議の時間が足りない
- ・ 学校の説明や事務連絡ばかりで議論の時間が無い
- ・ どのような話をするのか、事前に知らされていない
- ・ 特に次第などが無く、なんとなく話しておしまいになっている などなど

話し合いが十分に行われていると感じる理由は何でしょうか？ポイントを教えてください。

対話を大切に、対話のプロセスを大切に 熟議のススメ



対話を大切に、対話のプロセスを大切に 熟議のススメ

《なぜ、「熟議」なのか？》

☹️ 会議に出ても発言しないで帰る人がいる。

→全員が発言できるようにするには？
(傍観者を作らない)

☹️ 特定の人意見に強く流されてしまう。

→全員が平等の一票であるためには？

☹️ 議論しても空中戦で終わってしまう。

→話し合いを可視化するためには？
→合意形成のプロセスを大切にするには？

【熟議のポイント】

- ◆模造紙・付箋などを使って意見を可視化する。
- ◆全員が意見を出し合えるようにする。
- ◆出し合った意見をまとめていく。
- ◆発表して意見を共有する。
- ◆何ができるか、アクションを考える。
- ◆「やってみる」
- ◆プロセスを大切にする。
- ◆多様な意見を尊重する。



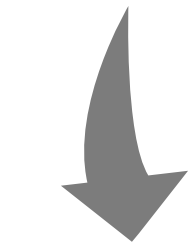
- まずは安心して意見が言える場をつくる
- 意見や考えが可視化され、共有しやすい。
- みんなで考え、納得解を導き出すプロセスが見える。
⇒話し合いが「自分事」になる。



▶ 「個人の意見、思い」を「みんなの思い」にしていくには



話し合い、聴き合って相互理解、個人の意見をチームの意見にまとめていく。



意見



この時点では
個人の意見



大事なのはこの先！

「ファシリテーター」って何するの？

• ファシリテーターの役割

- ◆ 進行が円滑に行われるよう、中立的な立場から支援を行う役割を担う人。そのための手法や技術をもつこと。
- ◆ 参加者のもつ力を最大限に引き出すこと。

⇒ **ファシリテーションの最終目的は、参加者自らが生産的な議論の場を創造し、ファシリテーターが不要になる状態**

⇒ **自分たちで会議をデザインしていこう！**

▶もちろん、シナリオを作ります。

テーマ： ●●●について語ろう

ゴール： 解決のためのアイデアを出そう

13：30～14：25（55分）

2分 2分 1分（13：35）	趣旨説明、導入 テーマとゴール説明 ルール説明	
2分 1分 15分	問い1 付箋に書く時間 話し合い	思いや意見が出しやすいような問いを立てる 付箋を出しながら自由に。カテゴライズしながら。
2分 1分 10分	問い2 付箋に書く時間 話し合い	問い1で出た意見をさらに深める、あるいは課題解決のアイデアを出すための問い
15分	発表	各グループ2～3分×グループ数で時間を確保
4分	次回に向けて	今回の話し合いをもとに、次回の話し合いの方向性を決める

▶話し合いの「約束事（ルール）」も作ります。

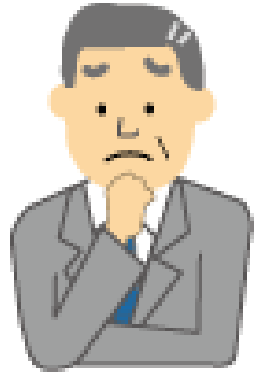
自分たちの話し合いの場を大切にするための「OURルール」を作しましょう！

◆付箋には1枚に一つのことを書きます。	付箋は、意見を見える化するために使う物。 長い文章などで細かく書くと一目ではわからない。 いくつものことが書いてあるとあとで分類しにくい。
◆人の話はよく聴く。	意見を尊重し合うため、誰かが発言しているときはしっかり聴く姿勢が大切。
◆人の意見を否定したり批判したりしない。	安心して意見が言える場をつくり、全員が意見を言えるために
◆前向きに考えましょう。	当事者として話し合いに参加してもらうためには、ポジティブに

▶では、いよいよ「熟議をやってみよう！」

テーマ：				
ゴール：		:	~	: まで！
分	自己紹介タイム			
分	①板橋区の（あなたの学校の）子どもたちのいいところを出し合いしましょう。 ②「こうなってほしいな」という願いを出し合いしましょう。			
	③個人の意見を、「みんなの意見」にするために分類してみましよう。		分類例：「知」「徳」「体」「〇〇」	
	④これまでやってきたこと、やっていることを出し合い、①②とどうつながっているかを話し合いましょう。			
	⑤地域の力を生かして、もっとやれることをアイデア出ししてみましよう。			

▶ 模擬熟議をやってみましょう



本校の課題は「不登校の増加」です。現在●名が不登校、各学年▲%の不登校率です。教員も保護者ががんばっているがなかなか解決にいたらない。地域にもご協力いただけないか？

大きなテーマは「不登校について」。ですが……

不登校の何について話し合えばよいのか？

地域の協力って？

▶ 振り返り

◆ 場をデザインする

- 熟議の目的設定
- 話し合いのゴール設定
- 時間設計
- 机の配置や雰囲気づくり

準備が大事！

◆ 話し合いのゴール（着地点）で大事な事

- 結論についての「理解」「合意」「納得」
- プロセスについての「納得感」
- アクションの選択と合意「なぜ」

次に向けて

▶まとめ

➤ 熟議とは？

→「熟」＝「よくよく」「とっっても」「たくさん」

「議」＝「話し合う」

→会議が自分事になるため、みんながプロセスを共有するための話し合いの手法です。

→模造紙や付箋を使うことだけが熟議ではありません。

➤ 熟議の大前提

→全員が意見が言い合える場になっていませんか？

➤ 熟議って意味あるの？

→熟議の、そのあとが大事です！やりっぱなしはNG

➤ 熟議は目的ではありません！

→私たちの「何のために」は？